



Topcon Global Code of Conduct

Driving with Integrity

トプコングローバル行動基準

Message from CEO

社長メッセージ

代表取締役社長 CEO

江藤 隆志



トプングループは、「TOPCON WAY」に基づき、「『医・食・住』に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献」することにより、社会とともに成長していく企業であり続けることを宣言しています。

今、私たちを取り巻く環境は、テクノロジーの進化やサステナビリティ、多様性の広がりなど、大きく変化しています。そんな時代だからこそ、誠実で倫理的な行動を徹底し、すべてのステークホルダーから信頼されることがより重要になっています。「トプコングローバル行動基準」は、「TOPCON WAY」の精神を土台に、国や地域を問わず、私たちがステークホルダーと向き合う時に大切にすべき考え方や姿勢をまとめたものです。トプコンの一員として共有したい価値観や、社会に対する私たちの約束を表しています。

経営陣をはじめ、トプングループで働くすべての人々が、この基準を理解し、日々の仕事の中で自然に活かしていくことが求められています。それは単に「守るべきルール」ではなく、透明性、公平性、多様性、そして新しいことに挑む姿勢を大切にしながら、社会とともに価値を生み出していくための“行動の指針”です。この行動基準をみんなで実践し、社会から信頼され続ける会社を一緒につくっていきましょう。

社長メッセージ	1
---------	---

はじめに

▶ トプコングローバル行動基準とは	3
▶ 本行動基準の対象者	3
▶ 正しい判断のために	4
▶ 質問・相談の窓口	5
▶ 違反を通報する方法	5
内部通報制度	
調査への協力	
禁止事項	
▶ 管理職の責任	7
▶ 本行動基準に違反した場合	7
▶ グループガバナンス	7

他者の尊重

▶ 人権の尊重	8
▶ 職場環境	9
▶ 安全管理	9

誠実で公正な事業活動

▶ 品質保証	10
▶ 営業活動	11
お客様の尊重	
公正な営業活動	
広告	
▶ 調達活動	12
▶ 技術者倫理	12

▶ 輸出管理	13
▶ 競争法遵守	14
▶ 腐敗防止	15
不適正な利益の供与の禁止	
個人的な利益の受領の禁止	
医療関係者との関係	
保険請求に関する適正な対応	
▶ マネーロンダリングの防止およびテロ対策法の遵守	17
▶ 顧客確認 (KYC: Know Your Customer)	18

会社資産の保護、情報

▶ 会社資産	19
▶ 機密情報	20
▶ 利益相反の回避	21
▶ 知的財産	22
▶ 個人情報	23
▶ ソーシャルメディアの利用	25
▶ 情報セキュリティ	25
▶ データ、AI、新技術の責任ある利用	26

社会とのかかわり

▶ 地域社会への貢献	27
▶ 環境活動	28

会計、情報開示

▶ 適正な会計	29
▶ 広報	30
▶ インサイダー取引の防止	30



はじめに

▼ トプコングローバル行動基準とは？

トプコングローバル行動基準は、「TOPCON WAY」に基づき、トプコングループ（株式会社トプコンおよびその子会社を指します）のすべての役員・社員が遵守すべき行動の基準、および日々の業務の中で正しい判断をするための指針を定めたものです。

▼ 本行動基準の対象者

本行動基準は、トプコングループで勤務するすべての役員・社員が対象です。
また、トプコングループと直接の雇用関係にない派遣社員・構内請負会社社員の方々も対象です。
トプコングループの大切なパートナーである派遣社員、構内請負会社社員の方々にも、
本行動基準に沿って行動いただくよう、お願いします。

▶ 正しい判断のために

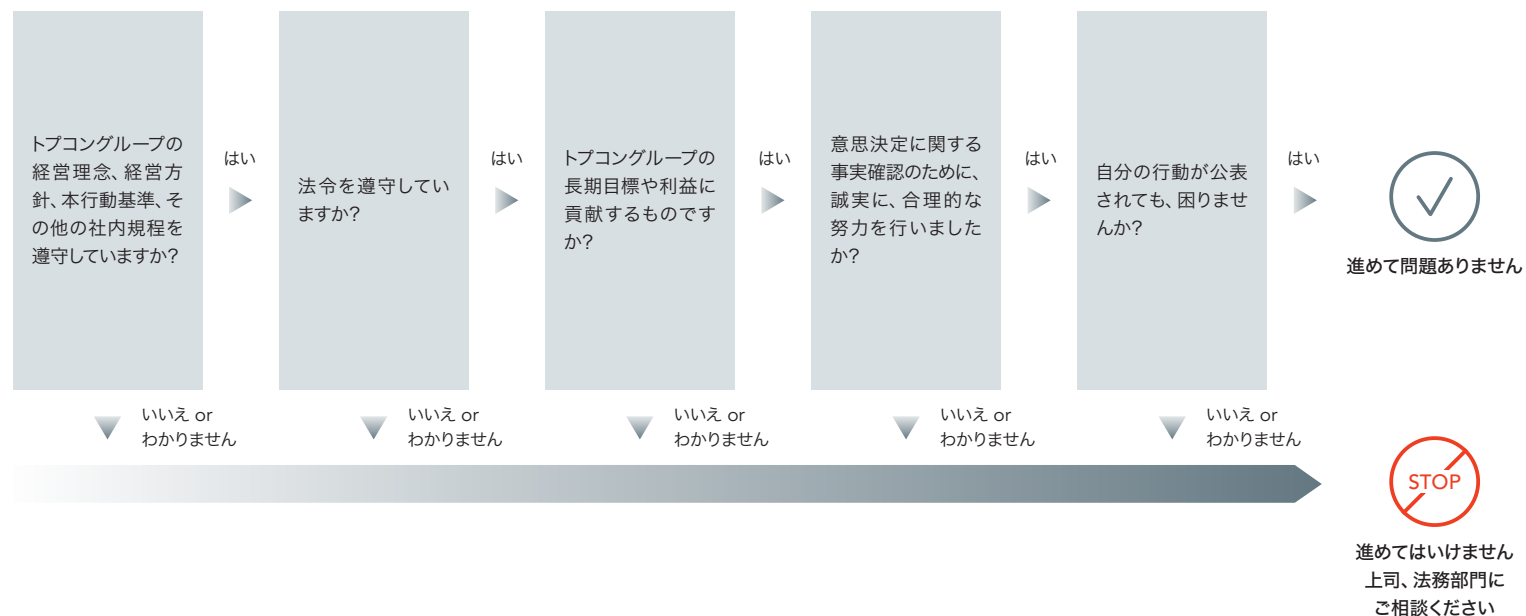
私たちは、それぞれの職場、日々の業務において、より良い判断をしなければなりません。

本行動基準は、そのために従うべき基準や判断のよりどころを示すものです。

そのため、社員の皆さん一人ひとりが本行動基準を読み、理解し、遵守することが大切です。

もっとも、本行動基準において、業務活動の中で生じるすべての事象について、対応基準や方針を記載することはできません。

本行動基準や社内規程などに記載がなく、正しい判断・倫理的な判断が難しい場合、次のことを自問してみましょう。



上のすべての質問に「はい」と答えられる場合は、そのまま進めて問題ありません。

「いいえ」や「わからない」がひとつでもある場合は、次のステップに進む前に立ち止まり、考え直すか、上司、法務部門にアドバイスを求めてください。



▼ 質問・相談の窓口

本行動基準について質問・相談がある場合、以下の株式会社トプコンまたはトプコングループ各会社の法務部門までご相談ください。

- 日本・APAC地域：Japan Legal
- US：US Legal
- EMEA：EU Legal

▼ 違反を通報する方法

違反行為またはその疑いのある行為を発見した場合、適切な方法で通報してください。

トプコングループは、社員が発見した懸念事項を、安全かつ匿名で通報できる手段を提供します。

社員が善意で懸念事項を報告した場合、トプコングループは社員を適切に保護し、報告内容を確認し、

調査が必要と判断された場合は調査を実施します。通報の方法と保護の内容について、定期的開催されるトレーニングを受講し、学んでください。

内部通報制度

本行動基準の違反またはそのおそれを見つけた場合、直ちに以下の窓口に報告・情報提供してください。

- 内部通報制度（社内ウェブサイト設置された通報専用フォームなど）
- 上司（上司に相談できない場合、より上位の管理職）
- 法務部門

調査への協力

トプコングループは、報告・情報提供を受けた懸念事項について、迅速に調査を行い、適切に対応します。

調査への協力依頼があった場合、積極的に協力してください。また、証拠の破棄や隠滅など、調査活動を妨害してはなりません。

禁止事項

懸念事項を通報、または調査に協力した社員に対し、それを理由に、不利益な取り扱いをしてはなりません。

具体的には、人事評価を低くつけること、不利益な人事異動をすること、などが不利益な取り扱いにあたります。

また、社員は、通報を受けたことやその調査に協力する過程で知った情報を、無関係な者に話すなどして開示・漏洩してはいけません。



Question



上司から、会社のルールに反すると思われる指示を受けました。
従わないと評価を下げられたり、部署にいづらくなるかもしれません。どうすればよいですか？



指示に従って実行に移す前に、内部通報窓口や法務部門に相談しましょう。
匿名で通報することもできるなど、報復を恐れずに報告することのできる体制が整っていますので、安心してください。



ある社員が頻繁に大声で叱責したり、物を投げたりしていて、周囲が怖がっています。
私の業務には直接関係ないですが、対応すべきでしょうか？



はい、対応が必要です。威圧的な態度や暴力的な行動は、職場の安全と秩序を乱し、他の社員の業務に支障をきたします。
会社は安全な職場環境の維持に努めており、こうした行為は行動基準に反します。
速やかにあなたの上司、人事部門または内部通報窓口へ報告してください。報告者が不利益を受けることはありません。



不適切だと思われる同僚の言動を認識しましたが、本行動基準を読んでも、
その言動が社内規程や法令に違反しているかどうか判断がつきません。どうしたらいいですか？



違反かどうかの確信や確証がない場合であっても、気になることがあれば、
トップグループ各社の法務部門までご相談ください。



▼ 管理職の責任

管理職の皆さんは、以下の行動をとり、本行動基準を積極的に実践してください。

- 日々の業務の中で本行動基準を率先して遵守し、チームメンバーの模範となること
- チームメンバーに本行動基準の重要性を理解させ、会社が提供する教育・トレーニングの受講を促し、本行動基準を遵守させること
- チームメンバーが持った疑問や問題意識について、真摯に聞き入れ、議論をし、適切な対応をとること
- これらの行動を通じ、職場全体のコンプライアンスに対する意識を向上させること

▼ 本行動基準に違反した場合

本行動基準に違反した社員は、違反の内容と程度に応じて、解雇を含む懲戒処分の対象となることがあります。

また、適用法令や契約などに従い、民事上・行政上・刑事上の責任を問われるおそれもあります。

本行動基準の内容を十分に理解し、遵守するようにしてください。

▼ グループガバナンス

トプコングループは、株式会社トプコンおよびすべての子会社を含むグループ全体で、各国の法令を遵守し、適正かつ効率的な事業運営を実現するため、グループガバナンスを徹底しています。

私たちは

- 事業活動のあらゆる場面で、関連する法令および社内規則を遵守し、必要な手続きを確実に実行します。
- 健全性と透明性を担保するため、社内の意思決定ルールを遵守し、必要なタイミングで必要な決裁を取得します。
- お客様や取引先との関係性を明確にするため、原則として書面（電磁的方法を含む）で作成した契約書により取引条件を定め、社内が必要な確認・決裁を経ます。



他者の尊重

人権の尊重、安全な職場環境の維持、多様性と包摂の推進は、社員のパフォーマンスと組織の健全性を直接左右します。

安心して働ける環境が整ってこそ、イノベーションが生まれ、社会から信頼される企業であり続けられます。私たちの事業を支える最も重要な基盤です。

▼ 人権の尊重

トプングループは、多様性、公平性および包括性を尊重する職場環境を構築し、すべての人について、国際的に宣言された人権を尊重し、公正な待遇と平等な機会を提供します。

私たちは

- すべての社員、お客様、サプライヤー、その他のあらゆる他者を尊重し、人種、宗教、信条、性別、国籍、年齢、障がいの有無、性的指向、民族、肌の色、政治観、配偶者の有無、病気・ウイルスなどへのり患・感染、兵役経験、社会的身分などの特徴に基づく差別的取り扱いを行いません。
- あらゆる他者に対し、威圧的、侮辱的、虐待的、攻撃的または敵対的な態度をとりません。
- 他者を不快にさせる性的な言動をとらず、性的な行為を要求しません。
- 他者への暴行、脅迫、その他損害を与える行為をしません。
- 職場の秩序を乱し、社員の業務遂行に支障を与える行為をしません。
- 児童労働、奴隷労働、強制労働、人身取引もしくは性的搾取、臓器提供、その他武力、脅迫または偽計を用いて、利益を得ることをしません。また、サプライチェーンのいずれの段階においても、これらを用いた主体とは取引をしません。

Question



海外にある新規サプライヤーを訪問した時、生産ラインで働いている人の中に、明らかに幼い人たちが混じっているように見えました。そのサプライヤーに聞いても、まったく問題ないから気にするなと言われて終わりました。あなたはどうすべきでしょうか？



この出来事に関して、上司や法務部門へ報告・相談をしてください。もしかしたら、児童を生産ラインで働かせているかもしれません。トプングループは児童労働をするサプライヤーとの取引を禁止していますので、調査が必要です。



▼ 職場環境

トプコングループは、社員に主体的に学び成長する機会を平等・公平に提供し、その資質を最大限に発揮することができるような職場風土の実現に努めます。

私たちは

- 自らの職務領域と責任権限に基づき業務を遂行します。
- 日常業務の内外で、能力向上のための自己研鑽に努めます。

▼ 安全管理

トプコングループは、建築物・設備などにつき、必要な安全対策を講じ、また、社員の心身の安全と健康に配慮した作業基準を制定します。国・地域を問わず、出張している社員および海外赴任している社員ならびにその家族の安全を確保するため、突発的危機対応システムを構築し、事件・事故の予防策を中心とした安全対策の確立・強化を図ります。

私たちは

- 業務の際は安全性を第一に考え、安全衛生に関する法令および社内規程を遵守します。
- 業務遂行に支障をきたすおそれのある薬物（市販薬・処方薬も含まれる場合があります）、アルコール、その他違法な薬・サプリメントなど（そのおそれのあるものも含みます）を使用・購入などせず、安全かつ適切に業務を行います。
- トプコングループの施設内外を問わず、業務遂行に支障をきたすおそれのある薬物などを他者に販売・譲渡・配布する行為をしません。

トプコングループは、各国の労働関連法令を遵守し、労働者の結社の自由、団結権、団体交渉権を尊重します。

労働者への賃金の支払いは、同一労働・同一賃金の原則に基づき、最低賃金法を遵守し、生活賃金以上の支払いに努めます。

また、過剰な労働時間を削減するように努めます。



誠実で公正な事業活動

品質、販売活動、広告、競争法、輸出管理、腐敗防止などの遵守は、当社製品・サービスに対する信頼を守るうえで欠かせません。

グローバル市場で誠実かつ透明性の高い取引を行うことは、ブランド価値を高め、重大な法的・財務リスクを回避します。

公正なビジネス慣行は企業の持続的な成長に不可欠です。

▶ 品質保証

トプングループは、「法令遵守（コンプライアンス）」と「品質第一」を基本理念とした企業活動を通じて、顧客志向に基づいた高品質かつ安全な製品・サービスを提供します。

私たちは

- その事業に関連する各国の法令、規則、通達、ガイドラインなどおよび規格、顧客との契約ならびに社内規程を遵守し、事業に必要な許認可、免許、資格を適切に取得・維持します。
医療機器の製造または販売などについては、各国の薬機法および関連する法令などを理解し、遵守します。
- 製品またはサービスの品質を、企画から開発・設計、製造・調達、販売、ライセンス、アフターサービスに至るすべてのプロセスを通じて、全員参加でつくり込みます。
また、そのために品質保証体制を確立し、維持・改善します。
- 製品またはサービスに関する事故情報を入手した場合、直ちに事実確認を行い、適切な措置を講じるとともに、真因を追究し再発防止に努めます。



▼ 営業活動

お客様の尊重

私たちは、お客様の多様化するニーズに応える製品およびサービスを提供します。

具体的には、お客様の声を大切にし、最大限に満足していただける製品およびサービスの提供ならびに顧客サービスの向上に努めます。

公正な営業活動

トプコングループでは、公正な営業活動を推進します。

私たちは

- 営業活動を行うにあたり、トプコングループの一員であることを自覚し、誠意をもってすべてのお客様に公正に接するものとします。
- 製品またはサービスに関する違法または不当な表示を行いません。
- 契約金額の不実な見積もり、虚偽情報の提供を行いません。
- 不正な金額の請求をしません。
- 同業他社やその取り扱い品などを誹謗・中傷しません。

広告

トプコングループは、広告活動を通じ、グローバルにトプコングループのブランドの知名度を向上させ、良き企業市民としてのイメージを確立することに日々努力をします。

私たちは

- 広告活動においては、前向きな表現を用い、適用されるすべての法令を遵守します。
- 他社製品を誹謗・中傷することによりトプコングループの優位性を訴求するような広告を行いません。
- お客様の誤認を生じさせる不当な表示をしません。
- 政治・宗教などについては広告表現の対象としません。
- 人種差別につながるおそれのある表現や個人の尊厳を傷つけるおそれのある表現はしません。



▼ 調達活動

トプコングループは、サプライヤーと誠実に取引を行い、公正な取引関係のもと、必要な資材（サービスを含む）を適切な品質・価格および納期で調達します。

私たちは

- 関連する法令および社内規程を遵守し、商慣習を尊重します。
- 環境に調和した製品づくりのため、グリーン調達を推進し、環境負荷の少ない資材を優先的に採用します。
- 公平な競争機会のもと、品質、価格、納期、アフターサービス、安定供給および環境への配慮の観点から総合的かつ公正な評価に基づきサプライヤーを選定し、調達活動を行います。

▼ 技術者倫理

私たちは、以下の倫理観と責任を持って行動します。

- 専門的知識や技能・技術を活かし、人々の健康、安全、幸福そして環境の持続可能性に貢献します。
- 常に最新の科学的知見、法令、社会通念を理解し、公正かつ誠実に判断・行動します。
- 次世代の技術者を育成し、知識・技能を継承し、技術の発展に貢献します。
- ソフトウェア、AI、データを扱う際には、プライバシー保護、公平性、透明性、セキュリティを最優先に考慮します。



▼ 輸出管理

トプコングループはグローバルに事業活動を展開し、全世界で製品の販売、開発を行っています。

各国の政府は国境を越えた製品、サービス、データの取引を管理、規制しています。

また、多くの国の政府は、他国および時にはある特定の個人や組織に対して禁輸制裁を科しています。

私たちは

- 国際的な平和と安全の維持・向上を阻害するおそれのある取引に関与しません。
- 事業活動を行うすべての国の輸出管理に関する法令を理解し、これらを遵守します。
- 輸出管理に関する社内規程を理解し、遵守します。

Question



あなたは海外営業部門に所属しており、長年取引がある某国の代理店の担当をしています。長年取引があり、代理店の社長とも気心が知れた仲なので、輸出管理で求められている毎年の制限顧客該当スクリーニングは今年実施しませんでした。この行為は問題ないでしょうか？



答えは「いいえ」です。長年取引があったとしても、もしかしたら、最近米国、欧州、日本などの国の制限顧客リストに掲載されているおそれもあります。必ず、毎年制限顧客該当スクリーニングは実施すべきです。



▼ 競争法遵守

トプコングループは、公正に競争を行い、違法または非倫理的な方法による事業活動を行わず、各国、各地域の競争法を遵守します。

私たちは

- 各国の競争法・関連法令を遵守し、自由で公正な競争に努めます。
- 市場およびお客様に関する情報を正当な方法で入手し、管理・使用します。
- 書面（eメールなどを含む）、口頭、その他明示・黙示の方法を問わず、同業他社との間で、直接的にも間接的にも、以下に掲げる事項に関する合意、協議、情報交換を行いません。
 - ◇ 価格、割引、見積もり
 - ◇ 競争入札プロセス
 - ◇ 生産数量または販売数量
 - ◇ 市場シェア
 - ◇ 製品開発計画、生産設備・技術
 - ◇ その他競争法に違反するおそれのある事項

競争法の規制は複雑で、違法かどうかの判断は個々の状況に左右されます。判断に迷った場合は、法務部門までご相談ください。

Question



あなたは営業部門に所属しています。業界団体の会合で同業他社のA社、B社と話す機会がありました。その際、A社から今年に入ってからだいたい売上が進んでいるので、一度価格を前年度の価格に戻さないかという提案を受けました。B社はA社の提案に賛同しています。あなたは、何も言いませんでしたが、良いアイデアではあると考えたので、笑顔で応えました。あなたの対応に問題はありますか？



問題があります。明確に返事をしなくても、価格調整の約束について、あなたは合意した（暗黙の了解）と認定されるおそれがあります。その結果、あなたもカルテルに加担したと考えられてしまいます。あなたはA社の提案に対して明確に拒否を示すことが必要でした。

Question



あなたは、ある重要な顧客の入札案件について、競合他社と契約獲得を競っています。競合他社の担当者が、「あなたが今回の入札額をあえて高額に設定し、私が契約を獲得できるよう取り計らってくれたら、次の入札では自分が入札額を高額にしてあなたが勝つようにする」と提案しています。あなたは、この提案を受けるべきでしょうか？



絶対に受けるべきではありません。この提案は、競合他社と事前に入札額を調整し、契約獲得を交互に行う「入札談合」にあたります。ほぼすべての国で競争法の制裁対象とされており、高額な罰金などの法的リスクを引き起こします。また、当社の信頼性を損ない、取引停止や入札資格剥奪につながるおそれもあります。



▼ 腐敗防止

不適正な利益の供与の禁止

トプコングループは、あらゆる形態の腐敗の防止に取り組んでおり、各国の法令・ガイドライン、健全な商慣習または社会倫理に反する不適正な利益や賄賂を用いてビジネスを推進することを禁止します。

私たちは、以下の対象に対し、賄賂を提供しません。

- 国内外の政府機関の職員（元職員・候補者を含む）
- 国有企業および国際機関の職員
- 政治家（候補者を含む）または政治団体およびその職員
- 顧客（法人または個人を問わない）
- 取引先、ビジネスパートナー
- これらの者の代理人

Question



あなたは、新製品の行政登録をコンサルタントと進めるよう、上司に指示されましたが、そのコンサルタントは、「手続きを早く済ませてもらうために、行政の窓口で、いつも担当者に心づけ（少額の金銭）を渡している」といううわさがありました。上司からは急ぐよう言われているが、このまま依頼を続けてもよいのでしょうか？



答えは「いいえ」です。うわさが真実であれば、そのような少額の金銭の提供も、トプコングループが禁止している賄賂（ファシリテーション・ペイメント）にあたります。うわさの真偽が確認できていないのに、依頼を進めてはいけません。まずは上司や法務部門などの関連部門に相談しましょう。その後、必要に応じて、リスク調査や契約書・宣誓書の提出を要求することが必要になるかもしれません。

賄賂とは

「賄賂」とは、業務上・商業上の不正な利益を得るために提供する、何らかの価値のあるものをいいます。賄賂には、金銭だけでなく、贈物、寄付、祝儀、貸与品、接待、機会の提供、その他有形・無形の価値あるものすべてが含まれます。賄賂には「ファシリテーション・ペイメント」という通関手続きやビザの取得など、本来は合法であるはずの行政サービスを円滑に進めるために、公務員に支払われる少額の金銭も含まれます。各国の法令によっては、公務員だけでなく民間企業の社員に対する贈賄も禁止されています。関連する国・地域・業界ごとのルールを理解し、遵守しなければなりません。現地の代理店やエージェンツなど、第三者に仲介してもらう場合、第三者などが贈賄行為に関与しないよう、注意する必要があります。依頼するサービスの内容、報酬などを契約書で事前に合意してください。



個人的な利益の受領の禁止

私たちは、その職務に関連して個人的な利益の供与を受けません。ただし、例外として、以下のすべてを満たす場合には、贈物・接待を受けることができます。

- 社員からの要求ではなく、取引先やお客様などの第三者から、お申し出いただいたものであること
- その国・地域の法令・ガイドラインや健全な商慣習の範囲内であること
- 常識の範囲を超えた華美または高額な贈物・接待でないこと
- トップグループの意思決定に影響を及ぼすおそれがないこと
- 社内規程上必要な手続きをとること

医療関係者との関係

私たちは、医療関係者との関係において、常に適切な距離を保ち、関連する法令および規則を遵守します。

(例：医師への不適切な金銭の提供の防止、医療機器の無償貸与、販促活動の実施に関する留意事項 など)

保険請求に関する適正な対応

医療分野においては、特に公的資金や償還制度が関与する場合、不正請求、浪費、不適切な取引が高リスク領域となります。

私たちは、同業他社と同様に適正な保険請求を行い、倫理的な事業運営および財務の健全性において業界の模範となるよう努めます。

Question



あなたは調達部門に所属しており、新規調達先を選定中です。

その候補先のひとつからあなたと折り入って話がしたいということで、会食の誘いを受けました。

会食会場は、それなりの金額がする高級レストランを指定されています。あなたは参加すべきでしょうか？



なるべくお断りをするべきです。その候補先は、もしかしたらあなたを接待することで、

自社を選んでもらえるようにしたいと考えているのかもしれませんが、どうしても接待を受けないといけない場合は、会社の規程を参照し、必要な承認を経たうえで参加してください。

その場合でも会食会場を安価なところに設定してもらうなどの工夫は必要です。



▼ マネーロンダリングの防止およびテロ対策法の遵守

トプコングループは、マネーロンダリング防止およびテロ対策に関わる法令を遵守するよう誠実に取り組んでいます。

私たちは

- 事業を展開するすべての国において、適用されるマネーロンダリング防止 (AML) 関連法令およびテロ対策関連法令を遵守します。
- マネーロンダリングやテロへの資金供与を目的とした活動に関与しません。また、犯罪行為や違法行為の収益から利益を得ている、またはテロ組織のために投資された資金を管理している個人または組織を支援しません。
- 合法的な事業活動を行っている信頼できる取引先 (サプライヤーやベンダーなどを含む) とのみ取引を行います。
- 顧客および事業パートナーに対し、合理的な範囲でデューデリジェンスを実施し、本人確認および所有構造を確認します。
- マネーロンダリングに関与しているおそれのある企業、反社会的勢力および組織とのいかなる取引も行わず、またこれらの組織への協力や加担は、直接間接を問わず、一切しません。

Question



マネーロンダリングに関与しているおそれのある会社とは、どのような会社でしょうか？



以下のような会社です。

実体のない会社 (ペーパーカンパニー)

◇ 実際の事業活動がほとんどなく、売上や従業員が存在しない

不自然な資金の流れ

◇ 短期間で多額の入出金が頻繁に行われる

◇ 小口に分けて入金する「ストラクチャリング」や、複数口座を経由する「レイヤリング」が見られる

◇ 海外送金が多く、送金先がAML対策などが不十分な国や地域

高リスク業態やサービスを利用

◇ 暗号資産交換業者など、匿名性や流動性が高いサービスを利用

◇ 不動産取引、宝石・貴金属取引など換金性の高い商品を悪用

会社情報や取引目的が不透明

◇ 実際の経営者や最終的な受益者 (Beneficial Owner) が不明

◇ 取引内容が不必要・不自然に複雑



▼ 顧客確認 (KYC : Know Your Customer)

トプコングループは、取引先に対し、法令遵守や事業慣行を確認し、当社の行動基準または同等の基準を遵守することを求めます。

第三者との取引開始時には、適切な契約条項を盛り込み、遵守を確保します。

確認の結果、リスクが認められる場合は取引中止などの対応を行い、取引関係については定期的に適合状況を評価します。

私たちは

- 取引開始前において、取引先に対し、法令違反の有無について確認を行います。
- 取引開始後も、取引先に対する定期的なモニタリングを実施します。
- 確認の結果、リスクが認められる場合には、取引の中止など適切な対応をとります。

会社資産の保護、情報

物的資産、知的財産、機密情報、個人情報を適切に保護することは、競争力と企業の信用を守るために重要です。情報セキュリティやAI・データの適正利用は、サイバーリスクや不正利用を防ぎ、事業の継続性を支えます。資産を守る行動は企業価値を維持するための必須条件です。

▼ 会社資産

トプコングループは、会社資産を適正に利用し、保護し、不正利用の防止に努めます。

私たちは

- トプコングループの資産（有形・無形を問いません）をトプコングループにおける業務遂行のためにのみ使用します。自己または第三者の利益を図るために、会社資産を使用しません。
- 会社資産のうち情報システムや端末機器、ソフトウェア、ネットワークなどの利用にあたっては、セキュリティポリシーや関連規程を遵守し、情報部門の指示に従い不正アクセスやマルウェア感染を防止するために必要な措置（ウイルス対策ソフトの更新やOSセキュリティパッチの適用など）を確実に実施します。

Question



あなたは在宅勤務のため会社支給のパソコンを持ち帰りましたが、週末のボランティアで使用するため名簿作成にも使用しようと考えています。よいでしょうか？



使用できません。会社から支給されているパソコンは、会社の業務をするためにあてがわれたものです。週末のボランティアに使用することは私的な利用にあたります。週末の使用で、破損してしまったり、コンピュータウイルスに入り込まれたり、会社の情報が漏洩してしまうおそれもあるので、会社の情報が入っていないプライベートのパソコンをご利用ください。

▼ 機密情報

トプコングループは、機密情報を保護し、漏洩、不正利用の防止に努めます。

私たちは

- 取り扱う情報が機密情報に該当するかを常に意識し、その取り扱い・保存・伝送・廃棄の各段階において情報セキュリティの観点から適切な措置を講じ、適切に管理します。
- アクセス制御や暗号化などを活用し、情報が不正に取得または改ざんされないようにします。
- 在職中または退職後を問わず、在職中に知り得た機密情報を第三者に開示、漏洩しません。
- 在職中または退職後を問わず、機密情報を自己または第三者の利益のため、その他不正に利用しません。
- 第三者の機密情報に対して十分注意を払います。不正な手段により機密情報を入手、または不正な目的のために機密情報を開示もしくは利用しません。
- 入社前に得た前職などの機密情報をトプコングループの社員に開示、漏洩、または職務に流用しません。
- 機密情報を取り扱う端末その他の媒体は、会社で認められたシステム・設備・機器のみを使用し、USBメモリなどの外部記憶媒体での社外持ち出しやクラウドストレージへのアップロードなどについては、会社が定める手続きとセキュリティ対策を遵守します。
- 機密情報へのアクセスに用いるアカウントやパスワードは厳重に管理し、使い回しを行わず、定期的に変更するなど、適切な安全対策を実施します。

機密情報とは

「機密情報」とは、社員がその業務遂行過程において取り扱う情報（お客様、取引先に係る情報を含む）で、それが開示・漏洩された場合、企業の活動または評価に不利益を及ぼすものをいいます。

Question



あなたは同業他社から当社に転職してきました。あなたは前職の会社で得た技術のノウハウを使用して当社の新製品開発に役立てようと考えました。特に問題はないでしょうか？



答えは「いいえ」です。前職の技術のノウハウは前職の会社の機密情報にあたります。前職の会社の許可なくそのようなノウハウを利用することは、前職の会社の権利を侵害する行為です。訴訟に発展し、多額の損害賠償を請求されるおそれもあります。

▼ 利益相反の回避

トプコングループは、社会との調和を重視し、社員が地域や社会に貢献することを尊重します。

その一環として、社員のボランティア活動やその他の社外活動を支持します。ただし、会社の利益と衝突するような行動は避けてください。

私たちは

- トプコングループの一員として、トプコングループの最善の利益を追求するよう行動します。
- 顧客、事業パートナー、サプライヤー、またはトプコングループが出資する企業などとの関係において、自己の私的利益とトプコングループの利益が相反する状況を回避します。
- 利益相反のおそれがある状況に直面した場合、またはそのおそれがある場合は、速やかに上司へ報告し、社内の適切な承認を得たうえで対応します。
- 政治活動を行う場合、トプコングループの名前を用いず、就業時間外に会社施設以外の場所で行います。

Question



家族が経営する会社と取引する場合、会社に対して事前に申し出る必要はありますか？



利益相反のおそれがあるため、必ず事前に上司または法務部門に申告し、必要な手続きを確認しましょう。



▼ 知的財産

トプコングループにとって、知的財産は最も価値のある資産のひとつです。

トプコングループは、特許権の取得などの適切な権利化、積極的な活用を通じて、知的財産の価値を最大化します。

私たちは

- 業務上発明・創作などした知的財産について、会社のルールに従い、適切に権利化するなどの手続きを通じて、最大限保護するよう努めます。
- 知的財産の保護に関する社内規程について理解し、遵守します。
- 他者の知的財産を不正に使用し、または侵害しません。

知的財産とは

「知的財産」とは、社員が成す研究・開発その他の活動の成果で、例えば、次のものを指します。

- ◇ 発明、デザイン、アイデア、ノウハウ
- ◇ 著作物、ソフトウェア
- ◇ ブランド、ロゴ、商標
- ◇ 営業秘密



▼ 個人情報

トプコングループでは、事業活動において個人情報を適切に保護しています。

私たちは

- 関連する国・地域ごとに適用される法令および社内規程に基づき、適切かつ公正な方法で個人情報を収集、管理、利用します。

個人情報とは

「個人情報」とは、社員がその業務遂行過程において取り扱うお客様、取引先などの役職員、求人応募者その他の個人に関する情報で、当該個人を識別することを可能にする情報をいいます。例えば、次のものを指します。

- ◇ 氏名、住所、生年月日
- ◇ 電話番号、メールアドレス
- ◇ パスポート番号、社員ID、個人番号（マイナンバー（日本）、ソーシャルセキュリティナンバー（米国）など）
- ◇ IPアドレス、Cookie ID
- ◇ GPSなどによる位置情報
- ◇ 健康情報、病歴、生体認証データ（指紋、顔認証、虹彩、網膜、DNAなど）



Question



あなたは営業職で出張に行くことが多いです。
毎回、顧客と会う前に、その会社や担当者の情報を予習するために、
パソコンには会社のデータベースからダウンロードした個人情報も保存してあります。
これらの対応は適切でしょうか？



答えは「いいえ」です。
パソコンに保存してある個人情報がかつ漏洩してしまった場合、個人情報漏洩事件となります。
面倒でも、安全な通信網を使用して会社のデータベースにアクセスするようにしてください。



個人情報が保存された記録媒体を紛失してしまいました。どうすればよいのでしょうか？



すぐに上司または情報セキュリティ部門に報告し、指示に従いましょう。



取引先から「自分の情報を削除してほしい」と言われました。応じなければいけないのでしょうか？



法令に基づき、削除の権利が認められている場合があります。取引先への回答前に、法務部門に相談しましょう。



▼ ソーシャルメディアの利用

ソーシャルメディア上での言動は、お客様、取引先、関係先、紛争の相手などの関係者が閲覧するおそれがあり、トプコングループの社会的評価およびブランド価値に影響します。

私たちは

- 投稿内容を事前に慎重に吟味し、自身で責任を持ちます。
- 許可された場合を除いては、会社を代表して発言などをしてはなりません。

▼ 情報セキュリティ

トプコングループは、お客様に関する情報などの機密情報を含むすべての情報資産について、その機密性、完全性、可用性を保護するため、堅牢な情報セキュリティ対策の維持に努めています。情報セキュリティに対する脅威は日々進化しており、ディープフェイク、AI生成によるフィッシング、AIによるマルウェアなど、AIを用いた新たなリスクへの警戒が必要です。

私たちは

- 会社のシステムを責任を持って使用し、情報セキュリティ関連規程を遵守します。
- 不審な活動やセキュリティインシデントを発見した場合は、社内の適切な窓口に速やかに報告します。
- 情報セキュリティの維持と向上に向けて、最新のセキュリティ対策を把握し、積極的に対応します。
- 会社の業務を行う際は、会社が承認した通信システムおよびプラットフォームのみを使用します。



▼ データ、AI、新技術の責任ある利用

トプコングループは、事業活動においてさまざまなデータを取得します。

それらのデータの重要性を十分に認識するとともに、適用される法令などを遵守して未来の製品・サービスの創出などのために活用します。

また、AI技術は私たちの生活をより豊かにするものになる手助けをしてくれる技術であるとの認識のもと、責任を持って、積極的かつ適切に、トプコングループの製品・サービスのみならず、業務にも取り入れていきます。

私たちは

- ヘルスケア・農業・インフラを通じて人々の生活を向上させるために、AIなどの先端技術を責任ある形で活用します。
- 先端技術の利用に際しては、人権と個人の尊厳を尊重するとともに、公平性や科学的根拠を重視し、不公正や差別を招く行為を避けます。
- プライバシー関連法令を守り、リスク評価と安全策を徹底して個人情報やデータを適切に保護します。
- 製品やサービスにおけるデータとAIシステムの利用方法を明確にし、設計、テスト、監視の各段階に責任を持ち、技術の透明性の確保や説明責任を果たします。
- 学術機関、産業界、公共部門のパートナーと協力し、AIとデータサイエンスの新たな可能性を探求します。
これらの取り組みは、法令や業界標準を尊重し、可能な限り透明性を確保し、共有価値を促進します。
- 誠実さをもってイノベーションを推進するため、リスクや倫理・法令基準との適合性などにに基づき、新技術を評価・管理する社内フレームワークを構築・維持します。AIなどの革新技術については、安全性・公平性・透明性を確保するため、部門横断的なプロセスでレビューを行います。



社会とのかかわり

地域社会への貢献や環境保全への取り組みは、企業市民としての責任を果たすと同時に、社会からの信頼と支持を高めます。持続可能な社会に向けた行動は、事業の安定性と長期的なステークホルダーリレーションズにも直結します。当社の存在意義を示す重要な取り組みです。

▼ 地域社会への貢献

トプコングループは、地域社会の一員として、地域社会の発展・向上に貢献します。

私たちは

- 地域社会と交流・交歓する機会の拡大を図り、社会貢献活動を推進します。
- 地域社会の一員として、地域社会の発展・向上に貢献するため、社会性・公共性などを勘案し、必要に応じて適正な寄付を行います。また、原則として政治献金はいりません。



▼ 環境活動

トプコングループは、事業活動において環境負荷低減・環境汚染予防・生物多様性を含む自然資本への配慮に努めるとともに、製品・サービスの提供を通じて環境課題に取り組みます。

私たちは

- 環境に関する法令および社内規程を遵守します。
- 水を含む資源・エネルギーの効率的な使用、廃棄物の削減・リサイクル、環境汚染物質や化学物質の低減に努めます。
- ライフサイクルを考慮した環境調和型製品・サービスを提供します。
- 気候変動がもたらす地球規模の課題を認識し、地球温暖化防止活動を推進します。
これには、温室効果ガスの排出削減をはじめ、クリーン技術の導入、生産プロセスの最適化、物流の効率化の実践などが含まれます。
- 地球温暖化防止、資源有効利用、生物多様性保全に貢献できる製品、技術、サービスの提供に努めます。
- 環境に関する教育を通じて、環境活動に対する意識を高めます。
- 新規立地・再配置、設備投資、製品企画・開発段階から製造・流通・廃棄までの各段階において環境への影響に関する事前評価を行います。
- 環境測定および点検を実施し、不適合箇所を発見した場合は直ちに改善措置をとります。
- 継続的な改善とステークホルダーとの協働を通じて、環境への取り組みを推進していきます。



会計、情報開示

正確な会計処理と透明な情報開示は、投資家・取引先・社会からの信頼を支える基礎です。

不適切な会計やインサイダー取引は企業の存続に関わる重大リスクとなるため、厳格なルール遵守が不可欠です。

誠実な財務報告は企業価値を維持し、長期的な成長を可能にします。

▼ 適正な会計

トプコングループは、会計に関する法令・基準などを遵守し、正確な記録の作成とその管理を行います。これにより、あらゆるステークホルダーからの信頼を維持します。

私たちは、以下を遵守します。

- 会計情報を適時かつ正確に記録すること
- 取引の改ざん、隠蔽、虚偽の報告や記録をせず、取引の本質に関する記録を省略しないこと
- 不適正な会計処理、誤解を与える会計報告を行わないこと
- 会計記録やその証憑（根拠資料など）を破棄することなく、適切に保管すること
- トプコングループの会計記録上、適切に承認され、明確に会計処理された場合に限り、支払いを行い、またはトプコングループの資金もしくは資産の移動を行うこと

Question



コンサルティング契約の委託先から請求書が届き、請求内容がすべて「コンサルティング費用」となっていますが、実際には一部が接待費でした。支払内容を細かく分けると面倒なので、請求書どおりの名目（コンサルティング費用）で一括で処理してもいいですか？



名目が異なる取引をまとめて処理するのは不適切です。会計処理では取引の本質を正確に記録することが重要です。特に、接待費などは税務上の扱いも異なるため、正しく名目を分類しなければ誤解を招く報告となり、会社に損害を与えるおそれがあります。面倒でも、正確な処理（この例では、コンサルティング費用と接待費の名目を分けること）を行いましょう。



▼ 広報

トプコングループは、お客様、株主、投資家などすべてのステークホルダーから正しい理解と信頼を得るとともに、トプコングループの知名度や企業イメージの向上を図るため、以下に基づき、企業情報を適時かつ適切に開示します。

私たちは

- 関係法令を遵守した情報開示を行います。
- 客観的で公正な情報開示に努めます。
- 新聞、雑誌、テレビなどのマスメディアと接触し、情報を開示する場合は、事前に広報担当部門の責任者の了解を得ます。

▼ インサイダー取引の防止

トプコングループは、社員が各国で適用されるインサイダー取引規制に関する法令を遵守することを求めます。

トプコングループでの業務遂行の過程で入手した他社のインサイダー情報を利用して有価証券の取引行為などを行ったり、他者と共有したりすることは、法律で禁じられている場合があります。これらの法律に違反した場合、拘禁刑を含む厳しい刑罰が科されるおそれがあります。

私たちは、以下の行為を行いません。

- インサイダー情報を知りながら、情報公開前に、関連する企業の株式等の有価証券について売買取引などを行うこと。他人に売買を推奨すること。
- 正当な理由なく、インサイダー情報を他者（他の社員、家族、友人を含む）に開示すること。